

アイデア（考え）を分析・整理する技法

アイデア（考え）は、正解が一つ突然浮き出てくるものではない。多数のアイデア（考え）から目的に合ったものは何か『分類分け』『取捨選択』『優先順位付け』『要約』等、分析・整理する必要がある。その技法の一つとして『トヨタで学んだ「紙1枚!」にまとめる技術(サンマーク出版)著者 浅田すぐる』で紹介されている【エクセル1】と【ロジック3】を学んでいく。ポイントは、考え方の【形】を身に付けることである。

【エクセル1】情報の整理・分析

目的	

- 『緑ペン』で白紙に右の図のように均一の8マス（内容によっては、16マス、32マスと増やす）の格子を記入する。
- 『緑ペン』で左上の1マスに目的（何をしたいか）を記入する。
- 『青ペン』で目的から連想するキーワードを、制限時間を設けて（8マスで1分、16マス2分、32マスで5分程度）残りの空白のマスに記入する（極力全て埋める）。
※ 記入の際は、時間を区切り、連想するキーワードを出すことだけに集中する（この後に、連想するキーワードが目的に合っているか分析するのでここでは考えない）
- 『赤ペン』で連想するキーワードを目的に合わせて消去法をし、必要な量に絞る。その際、キーワードを消す理由をマスに記入する。また、消去法でキーワードを絞った後に、理由をつけて優先順位も記入していくことも分析につながる。
- 必要があれば、残った連想するキーワードを目的にして、更に（1）～（4）を繰り返す。

【ロジック3】分かりやすい伝達の形にする

- 『緑ペン』で右の図のような枠を記入する。
- 『緑ペン』で左上の1マスに目的（何をしたいか）、その隣に「1P」を記入する。
- 『赤ペン』で作成した『エクセル1』を基に、他人に伝えたいことを一言（20文字以内の文章）でまとめ、1Pの下に記入する。
- 『緑ペン』でQ1～3の枠に伝えたいこと三つを『エクセル1』を基に記入する。この際、優先順位1位から順にQ1～3に記入する。その後、『青ペン』で各Q1～3の周りの枠三つに、各Qに記入したキーワードに対して「伝えたい理由（Why）」「何ができるか（What）」「どのように生かせる、期待できるか（How）」を記入する。

目的	1 P	Q 3	
Q 1		Q 2	

プレゼンテーションをするときは

何を伝えたいかのまとめが「1P」… 最初と最後に伝えることが多い
具体的な内容が「各Q1～3」… 発表内容
となる。分類をし、順番をつくり、まとめをつくることで他人に分かりやすい伝達ができる。

『トヨタで学んだ「紙1枚!」にまとめる技術(サンマーク出版)著者 浅田すぐる』より